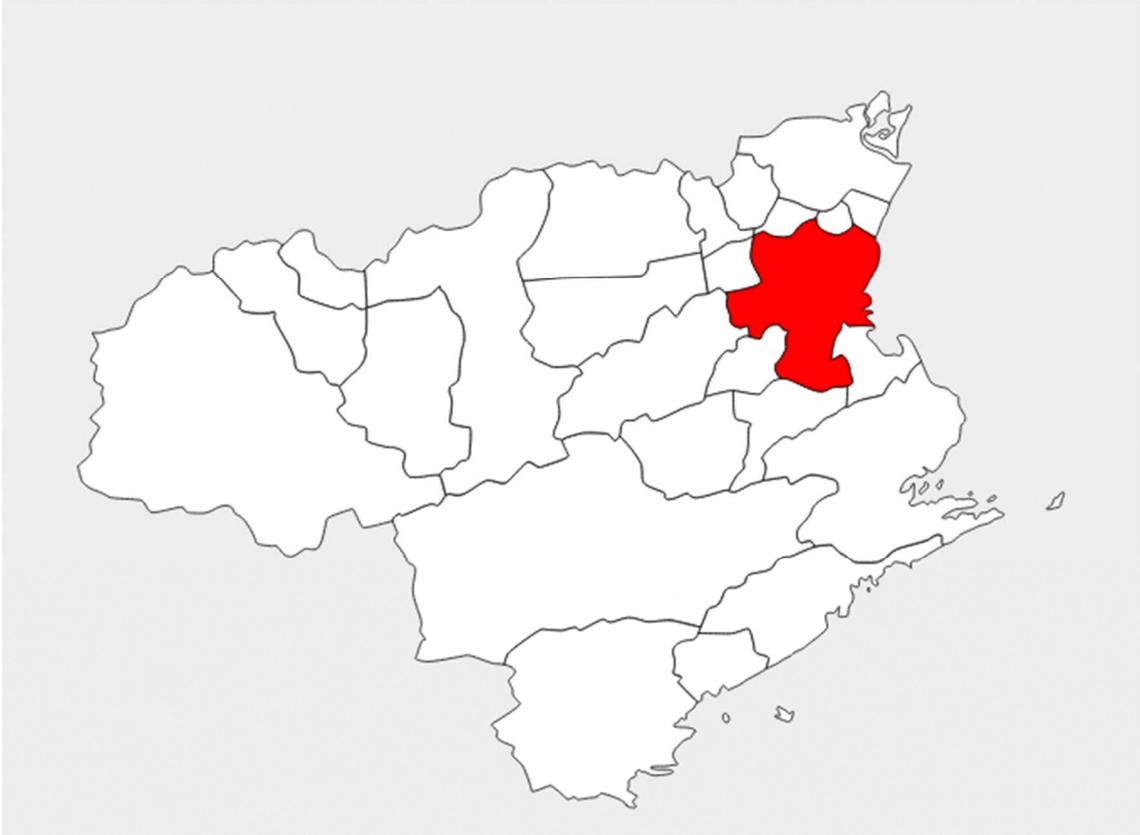


「徳島市農業委員会の取り組みについて」

徳島県 徳島市農業委員会



I 徳島市の概要

徳島市は、徳島県北東部に位置し、吉野川の沖積平野に発展した都市です。東部は紀伊水道に面し、西部は四国山地を背にした自然豊かな都市で、面積は191.39㎢、人口258,191人(平成29年1月時点)です。

古来から「阿波の国」と呼ばれ、徳島藩25万石の城下町として発展し、1889年(明治22年)の市政施行時には全国第10位の都市でした。

現在は県都として、県内の政治・経済・文化の中心を担う地方中核都市でもあります。

特に文化については、阿波踊り、人形浄瑠璃、霊場、お遍路さん、藍染、木工品、すだち等、どれも風土と歴史が育てた徳島らしい独自の文化が伝承されています。

また、神戸鳴門ルートと四国縦貫・横断道の結節点として、近代産業の育成や高速情報化時代に対応した都市づくりに取り組んでいます。

(1) 徳島市の農業の概要

徳島市は恵まれた自然条件を活かし、北は吉野川、南は山に囲まれ適地適作で産地が育まれてきました。農業経営については、米や野菜などの園芸作物を中心とした多品目複合経営体で発展し、家族農業及び企業的農業によって支えられています。

平成26年の農業産出額は、131億2千万円で県下第2位でした。しかし、近年県都としての開発振興のほか、農業者の高齢化等も深刻化してきており、土地利用形態は急速に変わりつつあります。

北部・西部地域

吉野川流域に位置する西部地域と北部の一部の地域については、夏秋に水稻、エダマメ、ゴボウ、コマツナ、ナス、ピーマン、ツルムラサキなどを栽培し、冬春野菜としてハウレンソウ、ブロッコリー、ニンジン、施設イチゴ、施設トマト、ノザワナなどが栽培されています。

また北部の川内地区では、砂地を利用したサツマイモ栽培やハウスと露地でのレンコンの周年栽培のほか、水稻とカリフラワーの輪作経営等が進んでいます。

南部地域

南に山をのぞむ南部地域については、菌床シイタケをはじめ、水稻、シソ、オクラなどの野菜、またミカン、スダチなどの果樹、あるいは洋ランやユリなどの花き栽培も盛んで、さらに冬春野菜では施設イチゴ、ナノハナ、施設キュウリなどが栽培され、近年ブロッコリーの栽培も増えてきています。

東部地域

東部地域（沖州）ではネギの単作周年栽培、中部（加茂、加茂名）では軟弱野菜が栽培されています。

総農家戸数	(2015 センサス)	3, 2 2 5 戸
農家人口	(〃)	7, 6 5 8 人
経営耕地面積	(〃)	2, 3 4 5 ha
耕作放棄地	(〃)	3 4 2 ha
認定農業者数	(H29. 12 月現在)	1 9 2 人
農業次世代人材投資資金対象者数	(〃)	6 4 人

(2) 農業委員会の現在の体制

改正農業委員会法による新体制が平成29年7月に誕生し、農業委員19人(旧35人)と農地利用最適化推進委員18人の合計37人で構成されています。事務局職員は専任職員11人です。

	農業委員	最適化推進委員
委員数	19人	18人
認定農業者数	15人	4人
認定農業者に準じる数	1人	6人
女性数	2人	1人
50歳未満の青年農業者の人数	0人	0人
利害関係を有しない者の人数	1人	0人

II 徳島市の活動事例について

(1) 農地パトロール



徳島市では8月から9月にかけて15地区に分けて委員2から3名で農地パトロールを行っています。パトロール後は判定結果をまとめて、①意向調査文書②適正指導文書③無断転用指導文書④農地中間管理機構案内文書⑤非農地通知文書の送付を行っています。

平成28年度調査分①

地区	意向調査文書			適正指導文書		
	件数	筆数	面積 (㎡)	件数	筆数	面積 (㎡)
多家良	17	29	18,462	28	36	23,312
勝占	5	9	7,313	18	25	26,345
八幡 斎津	0	0	0	1	2	2,194
渭東 沖州	2	4	4,252	0	0	0
加茂 渭北	0	0	0	3	5	3,903
加茂名 佐古	0	0	0	0	0	0
上八万	15	18	10,131	5	6	6,865
入田	22	26	18,867	13	18	12,909
不動	1	36	6,082	6	13	14,910
応神	2	3	1,693	2	2	520
川内	5	7	7,805	0	0	0
国府	11	17	7,449	10	20	16,207
南井上	1	1	96	6	9	7,261
北井上	4	5	4,447	4	8	8,948
合計	85	155	86,598	96	144	123,374
送付者 数 (人)	85			90		

平成28年度調査分②

地区	無断転用への指導文書			農地中間管理機構案内文書		
	件数	筆数	面積 (㎡)	件数	筆数	面積 (㎡)
多家良	0	0	0	0	0	0
勝占	5	6	7,817	0	0	0
八幡 斎津	5	13	5,355	0	0	0
渭東 沖州	0	0	0	0	0	0
加茂 渭北	0	0	0	0	0	0
加茂名 佐古	0	0	0	0	0	0
上八万	3	5	2,851	0	0	0
入田	2	2	1,400	3	3	1,210
不動	0	0	0	0	0	0
応神	1	1	1,071	0	0	0
川内	1	1	926	0	0	0
国府	1	1	1,239	3	4	1,927
南井上	0	0	0	0	0	0
北井上	0	0	0	2	2	1,770
合計	18	29	20,659	8	9	4,907
送付者 数(人)	15			4		

平成28年度調査分③

地区	非農地判定		合 計		
	件数	筆数	件数	筆数	面積 (㎡)
多家良	0	0	45	65	41,774
勝占	0	0	28	40	41,475
八幡 斎津	0	0	6	15	7,549
渭東 沖州	2	4	2	4	4,252
加茂 渭北	0	0	3	5	3,903
加茂名 佐古	0	0	0	0	0
上八万	4	4	23	29	19,848
入田	3	3	40	49	34,386
不動	1	36	7	49	20,992
応神	2	3	5	6	3,284
川内	5	7	6	8	8,731
国府	5	8	25	42	26,822
南井上	0	0	7	10	7,357
北井上	0	0	10	15	15,165
合計	22	65	207	337	235,539
送付者 数(人)	—		194		

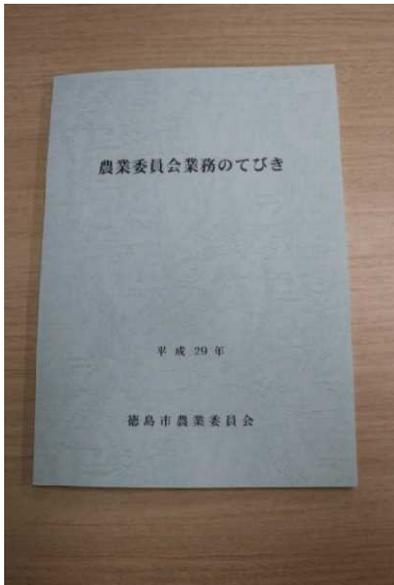
◎結果と課題

194件の文書を送付し、指導により耕作をはじめた農地所有者もいました。しかしながら、長年に渡って指導をしている農地もあります。地域の担い手となる農業法人や若い農業者に利用集積を行うように委員が一丸となって協力体制を築いていかなければなりません。

(2) 農業委員会業務のてびきの作成

農業委員と農地利用最適化推進委員が業務を理解できるようにてびき書（全96ページ）を作成しています。

てびき書は3年に一度作成し、委員に配付されます。



○内容

- | | |
|--------------|-----------|
| ①徳島市政 | ⑪農業振興地域制度 |
| ②農業委員会の概要 | ⑫開発許可制度 |
| ③農地法について | ⑬利用状況調査 |
| ④許可手続きの流れ | ⑭証明・届出制度 |
| ⑤農地等の権利移動の制限 | ⑮利用権設定等促進 |
| ⑥農業法人制度 | ⑯納税猶予制度 |
| ⑦貸貸の解約の関係 | ⑰農業者年金制度 |
| ⑧貸借料情報の提供 | ⑱条例・規則 |
| ⑨和解の仲介 | |
| ⑩農地の転用 | |

また、農業委員が a 高品質化・省力化への取組み b 太陽光発電 c 新規就農者 d 鳥獣害対策 e 加工・六次産業化を学ぶため、徳島市管内をマイクロバスで各施設を巡回し、研修に取り組みました。

(3) とくしま農業委員会だよりの作成

第23回全国農業委員会だより全国コンクール全国農業新聞特別賞受賞



とくしま農業委員会だよりを年3回発行し、現在第110号まで発刊しています。

農業者のニーズに近づけながら、農業委員会業務の広報のほか、新規就農者の紹介、イベントの紹介など誌面に取り上げています。発行ごとに編集会議を開催し、農業委員は毎回編集に参画し、農業委員が執筆を担当している記事もあります。

(4) 農業と農村の図画コンクールの開催



徳島市農業委員会では、子ども達が農業と農村に対して理解と関心を深めるとともに、自然に満ちた健康的な生活の大切さと、人間形成に役立つための取り組みとして、市内小学校33校を対象に、平成15年から図画コンクールを開催しています。

実施時期は夏休みの課題として行い、優秀な作品は徳島市役所1階で表彰を行っています。

(5) 農業後継者パートナー事業

徳島市では独身農業者への結婚支援・後継者対策として、平成24年からJAと共同で婚活イベントを毎年開催しています。

平成28年度は男女10名ずつで、婚活バスツアーを開催しました。淡路島で玉ネギの収穫体験やバーベキュー等を行い、カップルは成立しませんでした。男女の交流の場となりました。